※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１７

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語演習	2	2	ﾌﾟﾚｯﾌﾟｲﾝｸﾞﾘｯｼｭ Listening Laboratory Basic α

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・中学英語文法の振り返りを行い、英語学習における基盤を作ります。
・CEFRA1 レベルを確実に身に付けることを目的とし、4 技能のスキル（読む・書く・聞く・話す）をバランスよく練習していきます。
・4 技能を測る小テストを定期的におこなうことで、自分の達成と課題を知り、英語学習のモチベーションにつなげていきます。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第 2 学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと話されれば、身の回りのこと（写真描写・道案内・位置関係・数字など）を具体的に聞き取ることができる。	簡単で短い表現を使って書かれた文の構造を理解することができる。	視覚的補助を利用しながら、単元目標の文法を使って身近なことについて簡単に説明することができる。	前もって発話することを準備した話題について、単元目標の文法や基礎的な表現を使って、複数の文でスピーチしたり、描写をすることができる。	身近なことについて簡単な紹介文などまとまった英文を、単元目標の文法を用いながら、書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	考査を実施する。 英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、書くこと、話すこと、による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けているか。	考査を実施する。 コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で情報や考えなどの概要や要点，詳細，話し手や書き手の意図などを的確に理解したり，これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けているか。	小テスト、授業中内パフォーマンス、面接テスト、授業態度、提出物を実施する。聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的，自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けているか。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	プレップ 1～16 Listening Unit 1~4	聞くこと	a: 身近な情報(写真・状況)を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手と意見の交換することができる。 b: 適切な応答を選択することができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ文法・表現を使用して英語で発表することができる。 b: 自分の体験に沿ってテーマを決め、英語で発表することができる。 c: 自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: テーマに沿って学んだ文法や表現を使用して意見を論理的・具体的に書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む。	授業態度 提出物 考査
	中間考査			
	プレップ 17～32 Listening Unit 5~8	聞くこと	a: 相手の意見や身近な情報(数字・道案内)を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手の発言に対して質問することができる。 b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c:　自分の意見や情報を伝えようとしている。	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: テーマに沿って適切な語句や表現を使用して意見を論理的・具体的に書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む。	授業態度 提出物 考査
	期末考査			
2	プレップ 33～40 Listening Unit 9~12	聞くこと	a: 生活に必要な情報(天気予報・買い物)を聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手の趣味について話すことができる。 b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c:　自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: テーマに沿って適切な語句や表現を使用して意見を論理的・具体的に書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物 考査
	中間考査			
	プレップ 41～52 Listening Unit 13~16	聞くこと	a: 電話での対話やグラフ説明を正しく聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: １つのトピックについて理由をつけて意見を言うことができる b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c:　自分の意見や情報を伝えようとしている	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: テーマに沿って適切な語句や表現を使用して意見を論理的・具体的に書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む	授業態度 提出物 考査
	期末考査			

※令和４年度以降入学生用

3	プレップ 53～60 Listening Unit 17~20	聞くこと	a: アナウンスやナレーションを正しく聞き取ることができる。 b: 必要な語句や表現を理解することができる。 c: 英語を聞きながら適切にメモを取ることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （やりとり）	a: 相手の意見に対して、賛成や反対意見を述べることができる。 b: 適切な表現を使用して話すことができる。 c: 適切な相槌や反応を示し、やりとりすることができる。	授業態度 パフォーマンス
		話すこと （発表）	a: 学んだ表現を使用して英語で発表することができる。 b: 適切な資料を提示しながら英語で発表することができる。 c:　自分の意見や情報を伝えようとしている。	授業態度 パフォーマンス 発表
		書くこと	a: テーマに沿って適切な語句や表現を使用して意見を論理的・具体的に書くことができる。 b: 使用場面に応じて適切な英文を書くことができる。 c: 主体的に取り組む。	授業態度 提出物 考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度